

6月10日(水曜日)「地を受け継ぐ祝福」

【新改訳 2017】

詩篇 37・1－40

「悪者は、借りるが返さない。正しい者は、情け深くて人に施す。主に祝福された者は地を受け継ごう。しかし主にのろわれた者は断ち切られる。」(21、22節)

この詩篇は、この地にあっては正しい者が苦しんで、悪い者が幅を利かすように見える現実のあることを取り上げ、信仰者はどう考え、対応すべきかを記しています。

- ① 悪を行う者に腹を立てたり、ねたみを抱いたりしてはなりません。彼らは、まもなく滅びるのです。神は、悪を行う者がいつまでも栄えることは許されず、時が来るとおさばきになります。②信仰者は主に信頼し続け、善を励み、誠実に生き続けなさい。主ご自身を喜びとして、主を待ち望みなさい。そうするならば、主に祝福されるのです。
- 「地を受け継ぐ」とは、当時は土地の所有が第一義でしたが、真の意味で「生存」し続けられることと、御国を継ぐことになることを含みます(マタイ 5・5参照)。

～祈り～

主よ。どうか私も、あなたに祝福されて地を継ぐ者としていただけますように。

【学びのために】

「地を受け継ぐ」は、単に土地を受け継ぐだけでなく、地上でも神の国の国民となることを表します。この詩篇だけで、4 回も出ています(9、11、22、29 節)。マタイ 5・5「柔和なものは幸いです。その人は地を受け継ぐから」。